

## 2019 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

志村 寛史 (長久保病院)

Hola (スペイン語でこんにちは). 今回 JUA/EAU Resident Programme として、スペインで開催された EAU に参加させていただきました長久保病院の志村です. 2年前の EAU, 1年前の AUA は演題発表もあり、自身の発表が済むまでは他の演題を聞いてもあまり頭に入ってこなかった覚えがあります. 今回は発表というプレッシャーがない分、自分の興味のあるセッションを心ゆくまで拝聴でき非常に有意義な研修でした.

このプログラムには以前一度応募して選考漏れでしたが、今回は幸いにも昨年末に選考の通知をいただきました. 参加費と宿泊費を工面していただけるので、あとは自身で安い航空券を手配するだけでした. JUA および EAU の事務局の方からのメールを受けて分かったことですが、このプログラム内には拘束されるようなイベントはなく、基本的には参加するセッションやプログラムを自分で自由に選択できるものでした. つまり、自由であるものの、有意義なものにするかは自分次第ということです.

Joint Session や Opening Ceremony, Resident Dinner は同じく研修生の方々とも交流できるので参加させていただき、他大学の先生方と各々の大学の働きぶりなどを話し合ったりしました. 他愛もない話もしながら、大学院での研究などについて語り合うことは、非常に刺激となりました. ご一緒させていただいた杉野先生、小山先生、バルセロナの夜は忘れません.

現在私は泌尿器科 4 年目が終わる時期と同時に、これから大学院 2 年目に入る前で、これからは基礎研究に従事する時期でもあります. 自身で参加を選択したプログラムはその研究内容に関わるものが多く、パブリッシュされていない知見を吸収することができました. また、現在自分が多く関わるような手術の Video セッションや Live Surgery などを中心に、多くの時間を自分の必要とする内容に当てることができ、非常に充実した研修となりました. しかしながら、今になって後悔していることですが、もう 1 日自費でも滞在を延期して興味のある Course や Hands-on training にも参加できたらと思っています.

最新の知見、同じ Resident の方々との交流、どれも単なる知識の吸収ではなく、これからのモチベーションと



写真 1. EAU 会場前にて



写真 2. 腹腔鏡トレーニングをする筆者

して価値のある経験となりました. 国際委員会の先生方をはじめ JUA/EAU の関係者の方々、当 Programme に推薦頂きました武田教授、これまでご指導頂きました諸先生方を含め自施設の皆様に深く御礼申し上げます. Gracias.